

小山市水道事業会計

決算審査意見書

小山市病院事業会計

平成 2 2 年 4 月 1 日から

平成 2 3 年 3 月 3 1 日まで

小 山 市 監 査 委 員

小監第 45 号
平成 23 年 7 月 29 日

小山市長 大久保 寿 夫 様

小山市監査委員 山 本 二 男

小山市監査委員 高 田 純 子

小山市監査委員 青 木 美 智 子

平成 22 年度小山市公営企業会計の決算審査意見書について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 22 年度小山市水道事業会計及び小山市病院事業会計の決算を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

目 次

病院事業会計

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	業 務 の 概 要	2
2	予算の執行状況	3
(1)	収益的収入及び支出	3
(2)	資本的収入及び支出	4
(3)	一般会計補助金等	4
3	営 業 成 績	5
(1)	収 益	5
(2)	費 用	6
(3)	経 営 比 率	6
4	財 政 状 態	6
(1)	資 産	6
(2)	負債・資本	7
(3)	企 業 債	7
(4)	一時借入金	7
(5)	他会計出資金	7
(6)	貯 蔵 品	7
(7)	財 務 比 率	7
5	総 括 的 意 見	8
6	資 料	9

平成 2 2 年度小山市病院事業会計決算審査意見書

第 1 審査の対象

平成 2 2 年度小山市病院事業会計決算

第 2 審査の期間

平成 2 3 年 6 月 9 日から平成 2 3 年 7 月 2 9 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された決算書及び附属書類について次により審査を行った。

- 1 審査に付された書類が関係法令に準拠して作成されているか。
- 2 計数に誤りがないか。
- 3 会計事務が適法な手続きによって処理されているか。
- 4 収入の確保及び支出の執行は適正に行われているか。
- 5 経営は合理的に運営されているか。
- 6 財政状態はどうか。

等について調査照合を行い、審査を補足するため関係職員から説明を聴取するとともに定例監査及び例月出納検査の結果を参考とした。

第 4 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は、地方公営企業関係法令及び小山市病院事業の財務に関する特例を定める規則に準拠して作成されたもので、平成 2 2 年度の経営成績及び平成 2 2 度末の財政状態を適正に表示しており、決算の計数については正確なものと認めた。

なお、病院事業の決算諸表に表示するところにより、業務の概要、予算の執行状況と経営成績及び財政状態を考察検討した結果は、次のとおりである。

(注) なお、意見書中、小数点第 1 位、千円を単位として表した数字は、原則として四捨五入としたが、端数を整理するため調整した数字もある。

1 業務の概要

本年度の患者総数は 261,640 人で前年度 267,369 人と比較して 5,729 人(2.1%)の減少となっている。これを入院患者、外来患者別にみると、入院患者が 91,024 人で前年度 93,821 人と比較して 2,797 人(3.0%)の減少、外来患者が 170,616 人で前年度 173,548 人と比較して 2,932 人(1.7%)の減少となっている。一日平均では、入院患者が 249 人で外来患者が 702 人である。

人間ドックの利用者は 785 人で、前年度の 860 人と比較して 75 人(8.7%)の減少である。

また、検査・その他の件数は、臨床検査、調剤において増加しているが、レントゲン、内視鏡、手術、分娩、理学療法、給食において減少している。

表 1 患者数の推移

区 分	入 院			外 来		
	2 2 年度	2 1 年度	2 0 年度	2 2 年度	2 1 年度	2 0 年度
内 科	人 16,133	人 15,471	人 15,742	人 36,395	人 34,513	人 35,088
神 経 内 科	8,243	8,451	6,175	6,847	6,474	4,794
循 環 器 科	9,641	8,360	7,859	14,516	14,347	13,400
消化器内科	12,427	9,558	10,249	16,713	15,120	12,645
小 児 科	4,304	4,325	4,889	10,595	13,201	14,109
外 科	13,058	13,006	12,705	11,386	12,773	12,402
脳神経外科	4,094	6,687	6,728	8,254	9,122	9,079
整 形 外 科	15,224	15,544	14,876	22,160	22,011	21,650
皮 膚 科	—	—	—	3,210	3,234	3,215
泌 尿 器 科	1,244	3,344	4,126	10,399	10,584	10,327
産 婦 人 科	4,830	6,607	6,576	8,448	10,215	9,535
眼 科	670	457	579	13,839	13,631	13,670
耳鼻咽喉科	1,156	2,011	2,913	7,854	8,323	9,691
計	91,024	93,821	93,417	170,616	173,548	169,605
人間ドック	—	—	—	785	860	853
合 計	91,024	93,821	93,417	171,401	174,408	170,458

表2 検査・その他の件数

区 分	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度	平成 2 0 年 度
臨 床 検 査	1,172,564 件	1,115,072 件	1,090,664 件
レ ン ト ゲ ン	47,819 件	61,290 件	59,792 件
内 視 鏡	2,712 件	3,104 件	2,472 件
手 術	1,388 件	1,790 件	1,789 件
分 娩	207 件	270 件	276 件
理 学 療 法	28,634 件	34,281 件	29,434 件
調 剤	91,506 件	85,457 件	79,722 件
給 食	204,808 食	213,698 食	214,132 食
うち流動食の経管薬	594 食	3,346 食	11,046 食

2 予算の執行状況について

本事業年度における予算・決算の概要は別表1に示すとおりであるが、これを部門別にあげれば次のとおりである。なお、計数は消費税を含んだ額となっている。

(1)収益的収入及び支出

収 益 的 収 入	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度	平成 2 0 年 度
予 算 額	6,336,000 千円	6,282,000 千円	6,642,000 千円
決 算 額	5,552,824 千円	5,482,107 千円	5,660,003 千円
差 引 増 減	783,176 千円	799,893 千円	981,997 千円
執 行 率	87.6%	87.3%	85.2%

収益的収入の決算額は5,552,824千円であり、予算額6,336,000千円に対して87.6%の執行率で783,176千円の収入減となっている。これを前年度決算額5,482,107千円と比較すると70,717千円(1.3%)の増収となっている。医業収益は減収、医業外収益は増収している。

収 益 的 支 出	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度	平成 2 0 年 度
予 算 額	6,336,000 千円	6,112,000 千円	6,342,000 千円
決 算 額	5,558,232 千円	5,523,711 千円	5,503,243 千円
不 用 額	777,768 千円	588,289 千円	838,757 千円
執 行 率	87.7%	90.4%	86.8%

収益的支出の決算額は5,558,232千円であり、予算額6,336,000千円に対して87.7%の執行率で777,768千円の不用額を生じている。これを前年度決算額5,523,711千円と比較すると34,521千円(0.6%)の増加となっている。医業費用、

特別損失は増加しているが、医業外費用は減少している。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度	平 成 2 0 年 度
予 算 額	280,177 千円	280,361 千円	90,003 千円
決 算 額	277,775 千円	261,059 千円	55,000 千円
差 引 増 減	2,402 千円	19,302 千円	35,003 千円
執 行 率	99.1%	93.1%	61.1%

資本的収入の決算額は277,775千円であり、予算額280,177千円に対して99.1%の執行率で、2,402千円の収入減となっている。これを前年度決算額261,059千円と比較すると16,716千円(6.4%)の増収となっている。企業債、出資金が増収している。

資 本 的 支 出	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度	平 成 2 0 年 度
予 算 額	431,611 千円	434,691 千円	462,927 千円
決 算 額	430,136 千円	411,983 千円	409,182 千円
翌 年 度 繰 越 額	0 千円	0 千円	0 千円
不 用 額	1,475 千円	22,708 千円	53,745 千円
執 行 率	99.7%	94.8%	88.4%

資本的支出の決算額は430,136千円であり、予算額431,611千円に対して99.7%の執行率で1,475千円の不用額を生じている。これを前年度決算額411,983千円と比較すると18,153千円(4.4%)の増加となっている。建設改良費(医療機器等購入費)、企業債償還金とも増加している。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額152,361千円は、過年度分損益勘定留保資金150,346千円と当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,015千円で補填した。

(3) 一般会計補助金等

収益的収入における一般会計補助金等は681,962千円で前年度596,851千円と比較して85,111千円(14.3%)増加している。総収益に占める割合は12.3%で前年度の10.9%と比較して1.4ポイント上昇している。補助金等の内容の主なものは、救急医療の確保に要する経費174,192千円、病理解剖に要する経費35,900千円、未熟児医療に要する経費35,791千円、財政調整資金340,000千円などとなっている。

なお、資本的収入における一般会計補助金等は、237,175千円である。

3 営業成績について

本事業年度における損益計算書は別表2のとおりである。

本年度の総収益は5,543,292千円で前年度5,471,873千円と比較して71,419千円(1.3%)の増加となっている。これに対する総費用は5,550,434千円で前年度5,515,303千円と比較して35,131千円(0.6%)の増加となり、差引7,142千円の純損失を計上したことにより、累積欠損金は933,485千円(前年度926,343千円)となっている。

また、流動資産から流動負債を差し引いたマイナスの額が不良債務額となるが、本年度末で625,090千円のプラスとなっている。

医業収支比率は92.8%で、前年度93.7%より0.9ポイント下降している。

(1)収益内容について

区 分	平成22年度	平成21年度	平成20年度
医 業 収 益	5,008,361千円	5,027,588千円	4,851,101千円
医 業 外 収 益	534,931千円	444,285千円	798,939千円
特 別 利 益	0千円	0千円	0千円
合 計	5,543,292千円	5,471,873千円	5,650,040千円

医業収益は5,008,361千円で前年度5,027,588千円と比較して19,227千円(0.4%)の減少となっている。これは外来収益が増加したものの、入院収益、その他医業収益が減少したためである。

医業外収益は534,931千円で前年度444,285千円と比較して90,646千円(20.4%)の増加となっている。これは負担金交付金などが減少したものの、他会計補助金が増加したためである。

表3 患者一人当たりの薬品費及び収益比較表

区 分	平成22年度		平成21年度		平成20年度	
	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比
薬 品 費	2,899円	102.8%	2,819円	94.8%	2,973円	108.9%
収 益	19,142円	101.8%	18,804円	102.0%	18,444円	106.1%

(2)費用内容について

区 分	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度	平成 2 0 年 度
医 業 費 用	5,397,055 千円	5,364,997 千円	5,311,745 千円
医 業 外 費 用	135,672 千円	138,241 千円	163,718 千円
特 別 損 失	17,707 千円	12,065 千円	19,819 千円
合 計	5,550,434 千円	5,515,303 千円	5,495,282 千円

医業費用は 5,397,055 千円で前年度 5,364,997 千円と比較して 32,058 千円(0.6%)の増加となっている。内容は、給与費が 22,336 千円(0.7%)の増加、材料費が 34,342 千円(2.7%)の減少、経費が 50,283 千円(6.8%)の増加、減価償却費が 9,720 千円(4.3%)の減少、資産減耗費が 2,717 千円(112.4%)の増加、研究研修費が 784 千円(9.1%)の増加である。

医業外費用は 135,672 千円で前年度 138,241 千円と比較して 2,569 千円(1.9%)の減少となっている。内容は、支払利息及び企業債取扱諸費が 5,791 千円(16.5%)の減少、雑損失が 3,222 千円(3.1%)の増加である。

特別損失は 17,707 千円で前年度 12,065 千円と比較して 5,642 千円(46.8%)の増加となっている。内容は、平成 1 7 年度分に係る不納欠損処分が 107 件で 17,707 千円(前年度 105 件・12,065 千円)である。

表 4 医業収益に対する医業費用比較表

区 分	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度	平成 2 0 年 度
医 業 費 用	1 0 7 . 8 %	1 0 6 . 7 %	1 0 9 . 5 %

(3)経営比率

主な経営比率は別表 4 のとおりである。

4 財政状態について

本事業年度における貸借対照表は別表 3 のとおりである。

(1)資産

本年度末の資産総額は 3,570,393 千円で、この内訳は固定資産 2,537,203 千円及び流動資産 1,033,190 千円である。これを前年度末資産総額 3,689,122 千円と比較すると 118,729 千円(3.2%)の減少となっている。これは流動資産において 62,645 千円(6.5%)増加したものの、固定資産において 181,374 千円(6.7%)減少したためである。

固定資産の減少の要因は、建物が 113,069 千円(5.7%)、構築物が 201 千円(2.7%)、
 器械備品が 67,725 千円(12.5%)、車輛が 379 千円(12.8%)減少したためである。
 流動資産の増加の要因は、未収金が 34,059 千円(4.1%)減少したものの、現金預金
 が 94,213 千円(76.1%)、貯蔵品が 2,491 千円(15.9%)増加したためである。

(2)負債・資本

本年度末の負債総額は 408,099 千円で、前年度負債総額 409,645 千円と比較すると
 1,546 千円(0.4%)減少している。その要因としては、流動負債のうち、未払金が 1,470
 千円(0.4%)、その他流動負債が 76 千円(0.2%)減少したためである。

一方、資本の本年度末総額は 3,162,293 千円で、これを前年度末資本総額 3,279,477
 千円と比較すると 117,184 千円(3.6%)の減少となっている。これは自己資本金が
 237,175 千円(14.3%)増加したものの、借入資本金が 347,217 千円(27.4%)、剰
 余金が 7,142 千円(2.0%)減少したためである。

(3)企業債

本年度の借入総額は 40,600 千円であり、全額を医療機械器具整備事業に充ててい
 る。また、本年度の償還額は 387,817 千円で、その結果、本年度末残高は 920,359
 千円であり、前年度末残高 1,267,576 千円と比較すると 347,217 千円(27.4%)減少
 している。

(4)一時借入金

本年度中における借入額 200,000 千円は償還済みのため本年度末の残高は 0 円であ
 る。

なお、予算第 6 条で定めた一時借入金の限度額は 1,500,000 千円である。

(5)他会計出資金

本年度については、一般会計からの受け入れ額は 237,175 千円である。

(6)貯蔵品

本年度末の貯蔵品の現在高は 18,172 千円で、前年度末現在高 15,681 千円と比較し
 て 2,491 千円(15.9%)の増加となっている。

表 5 貯蔵品

年度 品名	平成 22 年度		平成 21 年度		21 年度に対する 22 年度の増減
	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比	
薬 品	17,426 千円	119.2%	14,621 千円	112.9%	2,805 千円
給 食 材 料	651 千円	90.4%	720 千円	81.9%	69 千円
診 療 材 料	95 千円	27.9%	340 千円	100.6%	245 千円
合 計	18,172 千円	115.9%	15,681 千円	110.7%	2,491 千円

(7)財務比率

財政状態を示す財務比率は、別表 4 の経営分析表のとおりである。

5 総括的意見

本年度の病院事業会計における決算の概要は、以上のとおりである。

本年度の経営成績をみると、医業収支については 388,694 千円の医業損失を計上した。前年度 337,409 千円と比較すると 51,285 千円(15.2%)増加している。その要因としては、診療科の常勤医師の不在などによる入院患者の減少や経費のうち賃借料や委託料が増加したことなどが考えられる。なお、入院の 1 日平均患者数が前年度 257 人から 249 人と 8 人(3.1%)減少し、それに伴い病床利用率が前年度 75.2%から 72.9%と 2.3 ポイント低下している。また、職員数が前年度 331 人から 4 人(1.2%)増加したこともあり、医業収益に対する職員給与比率は前年度 51.5%から 52.1%と 0.6 ポイント上昇している。その結果、医業収支比率は、前年度 93.7%から 92.8%と 0.9 ポイント低下し、平成 21 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値(以下、平均値)97.5%と比較すると 4.7 ポイント下回っている。医業外収支については 399,259 千円の黒字を計上した。前年度 306,044 千円と比較すると 93,215 千円(30.5%)増加している。その要因としては、他会計補助金(財政調整資金)が増加したことなどが考えられる。以上の結果、経常収支は 10,565 千円の黒字となっている。前年度 31,365 千円の赤字と比較すると 41,930 千円増加となり、これに特別利益と特別損失を加えた事業収支では 7,142 千円の純損失となった。企業にとって最も重要な指標の一つである経常収支比率は 100.2%で前年度 99.4%と比較すると 0.8 ポイント上昇している。

なお、経営状況や財政状況を経営分析表でみると、経営の安全性を測る自己資本構成比率は、前年度 54.5%から 62.8%と 8.3 ポイント上昇し、平均値 48.8%と比較すると、14.0 ポイント上回っている。一方、医業収支については、前述のとおり医業損失を計上しており、前年度と同様にその補填を医業外収益、つまり一般会計からの補助金等に依存している。これは、他会計繰入金対経常収益比率をみても、前年度の 10.9%から 12.3%に増加しており、平均値 9.1%からすると、引き続き高い比率で依存していることが判る。今後とも収益の増収を図りつつ、さらなる経費の削減に努めていただきたい。

新市民病院が建設に向け動き出そうとしている。その一方で、医師や看護師の確保、医業収益の確保と経費削減など、安定した健全な経営に向けて取り組むべき課題を抱えており、病院を取り巻く環境は厳しいというのが現状である。「患者中心の医療」、「安全で質の高い医療」、「地域のための医療」、「密接な地域医療連携」という市民病院の理念のもと、将来にわたり地域や市民から信頼に足る病院であることを使命とし、なお努力を続けていただきたい。

資 料

1 予 算 決 算 対 照 表

2 損 益 計 算 書

3 貸 借 対 照 表

4 経 営 分 析 表

別表1 予算決算対照表

収益の収入

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			差 引 増 減	備 考 (仮受消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
病院事業収益	6,336,000,000	100.0	5,552,824,281	100.0	87.6	783,175,719	
1 医業収益	5,794,534,000	91.5	5,016,938,661	90.3	86.6	777,595,339	8,577,303
2 医業外収益	541,464,000	8.5	535,885,620	9.7	99.0	5,578,380	1,134,033
3 特別利益	2,000	0.0	0	0.0	0.0	2,000	

収益の支出

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			不 用 額	備 考 (仮払消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
病院事業費用	6,336,000,000	100.0	5,558,231,814	100.0	87.7	777,768,186	
1 医業費用	6,216,202,000	98.1	5,457,737,462	98.2	87.8	758,464,538	60,681,728
2 医業外費用	100,948,000	1.6	82,787,587	1.5	82.0	18,160,413	
3 特別損失	18,010,000	0.3	17,706,765	0.3	98.3	303,235	
4 予備費	840,000	0.0	0	0.0	0.0	840,000	

資本の収入

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			差 引 増 減	備 考
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
資本の収入	280,177,000	100.0	277,775,000	100.0	99.1	2,402,000	
1 企業債	43,000,000	15.3	40,600,000	14.6	94.4	2,400,000	
2 出資金	237,175,000	84.7	237,175,000	85.4	100.0	0	
3 補助金	1,000	0.0	0	0.0	0.0	1,000	
4 固定資産売却代金	1,000	0.0	0	0.0	0.0	1,000	

資本の支出

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			不 用 額	備 考 (仮払消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
資本の支出	431,611,000	100.0	430,135,573	100.0	99.7	1,475,427	
1 建設改良費	43,794,000	10.1	42,319,065	9.8	96.6	1,474,935	2,015,194
2 企業債償還金	387,817,000	89.9	387,816,508	90.2	100.0	492	

別表2 病院事業会計損益計算書(前年度比較)

費用の部

(単位 円・%)

科 目	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	前 年 度 対 比	
					比 較 増 減	対比率
1 医業費用	5,397,055,734	97.2	5,364,997,299	97.3	32,058,435	100.6
(1) 給与費	3,128,479,362	56.3	3,106,142,892	56.3	22,336,470	100.7
(2) 材料費	1,242,285,470	22.4	1,276,627,036	23.2	34,341,566	97.3
(3) 経費	795,205,192	14.3	744,922,664	13.5	50,282,528	106.8
(4) 減価償却費	216,555,611	3.9	226,275,917	4.1	9,720,306	95.7
(5) 資産減耗費	5,133,909	0.1	2,416,702	0.0	2,717,207	212.4
(6) 研究研修費	9,396,190	0.2	8,612,088	0.2	784,102	109.1
2 医業外費用	135,671,670	2.5	138,240,848	2.5	2,569,178	98.1
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	29,234,662	0.6	35,025,321	0.6	5,790,659	83.5
(2) 雑損失	106,437,008	1.9	103,215,527	1.9	3,221,481	103.1
3 特別損失	17,706,765	0.3	12,065,184	0.2	5,641,581	146.8
(1) 固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 過年度損益修正損	17,706,765	0.3	12,065,184	0.2	5,641,581	146.8
小 計	5,550,434,169	100.0	5,515,303,331	100.0	35,130,838	100.6
当 年 度 純 利 益	0	—	0	—	0	—
合 計	5,550,434,169	—	5,515,303,331	—	35,130,838	100.6

収益の部

(単位 円・%)

科 目	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	前 年 度 対 比	
					比 較 増 減	対比率
1 医業収益	5,008,361,358	90.3	5,027,587,716	91.9	19,226,358	99.6
(1) 入院収益	3,129,631,613	56.4	3,138,059,445	57.4	8,427,832	99.7
(2) 外来収益	1,552,503,058	28.0	1,542,156,562	28.2	10,346,496	100.7
(3) その他医業収益	326,226,687	5.9	347,371,709	6.3	21,145,022	93.9
2 医業外収益	534,930,569	9.7	444,285,041	8.1	90,645,528	120.4
(1) 受取利息及び配当金	116,693	0.0	167,426	0.0	50,733	69.7
(2) 他会計補助金	363,468,000	6.6	239,818,000	4.4	123,650,000	151.6
(3) 国県補助金	26,936,348	0.5	34,186,440	0.6	7,250,092	78.8
(4) 負担金交付金	119,051,000	2.1	142,769,000	2.6	23,718,000	83.4
(5) その他医業外収益	25,358,528	0.5	27,344,175	0.5	1,985,647	92.7
3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) 固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 過年度損益修正益	0	0.0	0	0.0	0	—
小 計	5,543,291,927	100.0	5,471,872,757	100.0	71,419,170	101.3
当 年 度 純 損 失	7,142,242	—	43,430,574	—	36,288,332	16.4
合 計	5,550,434,169	—	5,515,303,331	—	35,130,838	100.6

別表3 病院事業会計貸借対照表(前年度比較)

資産の部

(単位 円・%)

科 目	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	前年度対比 比較増減	対比率
1 固定資産	2,537,202,881	71.1	2,718,576,898	73.7	181,374,017	93.3
(1) 有形固定資産	2,535,858,742	71.0	2,717,232,759	73.7	181,374,017	93.3
イ 土地	196,509,876	5.5	196,509,876	5.3	0	100.0
ロ 建物	1,853,673,035	51.9	1,966,742,003	53.3	113,068,968	94.3
ハ 構築物	7,173,787	0.2	7,374,487	0.2	200,700	97.3
ニ 器械備品	475,920,550	13.3	543,646,083	14.8	67,725,533	87.5
ホ 車輛	2,581,494	0.1	2,960,310	0.1	378,816	87.2
ヘ 建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 無形固定資産	1,344,139	0.1	1,344,139	0.0	0	100.0
イ 電話加入権	1,344,139	0.1	1,344,139	0.0	0	100.0
2 流動資産	1,033,189,842	28.9	970,544,692	26.3	62,645,150	106.5
(1) 現金預金	218,026,116	6.1	123,813,519	3.4	94,212,597	176.1
(2) 未収金	796,591,312	22.3	830,650,045	22.5	34,058,733	95.9
(3) 貯蔵品	18,172,414	0.5	15,681,128	0.4	2,491,286	115.9
(4) その他流動資産	400,000	0.0	400,000	0.0	0	100.0
資 産 合 計	3,570,392,723	100.0	3,689,121,590	100.0	118,728,867	96.8

負債・資本の部

(単位 円・%)

科 目	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	前年度対比 比較増減	対比率
3 固定負債	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) その他固定負債	0	0.0	0	0.0	0	—
4 流動負債	408,099,458	11.4	409,644,575	11.1	1,545,117	99.6
(1) 一時借入金	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 未払金	373,206,666	10.4	374,676,345	10.2	1,469,679	99.6
(3) その他流動負債	34,892,792	1.0	34,968,230	0.9	75,438	99.8
負 債 合 計	408,099,458	11.4	409,644,575	11.1	1,545,117	99.6
5 資本金	2,816,055,927	78.9	2,926,097,435	79.3	110,041,508	96.2
(1) 自己資本金	1,895,696,719	53.1	1,658,521,719	44.9	237,175,000	114.3
(2) 借入資本金	920,359,208	25.8	1,267,575,716	34.4	347,216,508	72.6
イ 企業債	920,359,208	25.8	1,267,575,716	34.4	347,216,508	72.6
6 剰余金	346,237,338	9.7	353,379,580	9.6	7,142,242	98.0
(1) 資本剰余金	1,279,722,726	35.8	1,279,722,726	34.7	0	100.0
イ 再評価積立金	11,669,000	0.3	11,669,000	0.3	0	100.0
ロ 受贈財産評価額	471,749,426	13.2	471,749,426	12.8	0	100.0
ハ 国県補助金	108,931,300	3.0	108,931,300	3.0	0	100.0
ニ 一般会計補助金	687,373,000	19.3	687,373,000	18.6	0	100.0
(2) 欠損金	933,485,388	26.1	926,343,146	25.1	7,142,242	100.8
イ 当年度未処理欠損金	933,485,388	26.1	926,343,146	25.1	7,142,242	100.8
資 本 合 計	3,162,293,265	88.6	3,279,477,015	88.9	117,183,750	96.4
負 債 ・ 資 本 合 計	3,570,392,723	100.0	3,689,121,590	100.0	118,728,867	96.8

別表4 経営分析表

分 析 項 目	22 年度	21 年度	20 年度	21 年鑑	算 式
固 定 資 産 構 成 比 率	71.1%	73.7%	75.9%	70.2%	{固定資産 / (固定資産 + 流動資産 + 繰延勘定)} * 100
固 定 負 債 構 成 比 率	25.8%	34.4%	42.3%	44.1%	{(固定負債 + 借入資本金) / 負債資本合計} * 100
自 己 資 本 構 成 比 率	62.8%	54.5%	47.3%	48.8%	{(自己資本金 + 剰余金) / 負債資本合計} * 100
固定資産対長期資本比率	80.2%	82.9%	84.8%	75.6%	{固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 固定負債)} * 100
固 定 比 率	113.2%	135.1%	160.6%	143.9%	{固定資産 / (自己資本金 + 剰余金)} * 100
流 動 比 率	253.2%	236.9%	230.3%	403.4%	(流動資産 / 流動負債) * 100
酸 性 試 験 比 率	248.6%	233.0%	226.6%	386.5%	{(現金預金 + 未収金) / 流動負債} * 100
現 金 預 金 比 率	53.4%	30.2%	23.5%	226.5%	(現金預金 / 流動負債) * 100
自 己 資 本 回 転 率	2.4 回	2.6 回	2.8 回	2.7 回	医業収益 / {(期首自己資本 + 期末自己資本) / 2}
固 定 資 産 回 転 率	1.9 回	1.8 回	1.6 回	1.8 回	医業収益 / {(期首固定資産 + 期末固定資産) / 2}
減 価 償 却 率	8.5%	8.2%	8.2%	6.0%	{当年度減価償却費 / (固定資産 - 土地 + 当年度減価償却費)} * 100
流 動 資 産 回 転 率	5.0 回	5.3 回	5.3 回	4.5 回	医業収益 / {(期首流動資産 + 期末流動資産) / 2}
未 収 金 回 転 率	6.2 回	6.1 回	6.0 回	11.4 回	医業収益 / {(期首未収金 + 期末未収金) / 2}
総 収 支 比 率	99.9%	99.2%	102.8%	101.5%	(総収益 / 総費用) * 100
経 常 収 支 比 率	100.2%	99.4%	103.2%	102.1%	(経常収益 / 経常費用) * 100
医 業 収 支 比 率	92.8%	93.7%	91.3%	97.5%	(医業収益 / 医業費用) * 100

注 21 年鑑.....平成 21 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値

分 析 項 目	22 年度	21 年度	20 年度	21 年鑑	算 式
利 子 負 担 率	3.2%	2.8%	2.5%	2.8%	{支払利息 / (一時借入金 + 借入資本金)} * 100
企業債償還元金対減価償却費比率	179.1%	170.1%	144.0%	96.4%	(建設改良の企業債償還元金 / 当年度減価償却費) * 100
職員給与費対料金収入比率	55.8%	55.3%	56.5%	56.5%	(職員給与費 / 料金収入) * 100
病 床 利 用 率	72.9%	75.2%	74.8%	76.4%	(年延入院患者数 / 年延病床数) * 100 (一般病床)
1 日 平 均 患 者 数 (入 院)	249 人	257 人	256 人	252 人	年延入院患者数 / 365 日 (一般病床)
1 日 平 均 患 者 数 (外 来)	702 人	717 人	698 人	598 人	年延外来患者数 / 外来診療日数
外 来 入 院 患 者 比 率	187.4%	185.0%	181.6%	164.5%	(年延外来患者数 / 年延入院患者数) * 100 (一般病床)
医 師 1 人 1 日 当 り 患 者 数	16.9 人	17.6 人	17.9 人	12.4 人	(年延入院患者数 + 年延外来患者数) / 年延医師数
医師1人1日当り患者数(入院)	5.9 人	6.2 人	6.3 人	4.7 人	年延入院患者数 / 年延医師数
医師1人1日当り患者数(外来)	11.0 人	11.4 人	11.5 人	7.7 人	年延外来患者数 / 年延医師数
医業収益に対する職員給与費割合	52.1%	51.5%	52.6%	54.1%	(職員給与費 / 医業収益) * 100
病 床 1 0 0 床 当 り 職 員 数	98.0 人	95.0 人	96.2 人	113.6 人	{年度末職員数 / (年度末稼働病床数 - 年度末感染症病床数)} * 100
他会計繰入金対経常収益比率	12.3%	10.9%	16.8%	9.1%	(他会計繰入金 / 経常収益) * 100
他会計繰入金対医業収益比率	13.6%	11.9%	19.6%	10.1%	(他会計繰入金 / 医業収益) * 100
他会計繰入金対総収益比率	12.3%	10.9%	16.8%	9.3%	(他会計繰入金 / 総収益) * 100
1 床 当 り 繰 入 金 (収 益 的 収 入)	1,994 千円	1,745 千円	2,779 千円	—	他会計繰入金 / 年度末病床数

注 21 年鑑……平成 21 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値